タイのツアーガイドらが来村

1月31日、タイの旅行会社ワールドプロトラベルのツアーガイド15人が新篠津村を訪れ、しのつ湖でのワカサギ釣りなどを体験しました。

この日一行は午後３時過ぎにしんしのつ温泉たっぷの湯に到着。村の郷土芸能である田園太鼓や獅子舞で盛大に歓迎を受けました。その後、しのつ湖でワカサギ釣りに挑戦。釣った魚は小岩料理長が天ぷらに調理し、試食したツアーガイドらは「アローイ（おいしい）」と舌鼓を打っていました。

東出村長は「タイの皆さんが新篠津村に訪れたときは最高のおもてなしで歓迎します」とツアーガイドらにＰＲしていました。

鬼は外！福は内！　村内各保育所で節分の豆まき

2月3日、毎年恒例の行事「節分の豆まき」が、村内の各保育所で行われました。

この日、なかよし保育所では、保育士が最初に紙芝居を通じて節分について園児らに説明。その後、父兄が扮する青鬼が保育所内に現れ、園児らは「鬼は外！福は内」と豆を投げつけ、子どもたちの元気な声が保育所内に響きわたっていました。

あまりの怖さに逃げ出す子どももいましたが、園児らは見事に鬼を保育所から追い出しました。

健全な育成を！　家庭教育講座

2月12日、自治センター一般研修室でＮＰＯ法人お助けネット中谷通恵代表を講師に「子どもとメディア」と題した平成25年度第２回目の家庭教育講座が開かれ、村民などの関係者約20人が参加し、メモを取るなど熱心に聞き入っていました。

中谷代表は自分の子育ての体験談をもとに「子どもの心の転換期は８歳から10歳。その時期に過度な競争が多いと自信が育たない。周りの大人が励ますことが大事」と子どもの心の発達についてわかりやすく説明していました。

また、子ども達の携帯・ネット依存問題については「防ぐためにはパソコンを居間に置くなどして、端末を子どもに独占させないこと」と参加者らに呼びかけていました。

バランスを考えながら楽しく給食

2月13日、給食センターで食事に対する知識を深め、食の大切さを実感してもらおうと、新小5・6年生を対象にバイキング給食が行われました。

この日のメニューはビーフカレーやさけのチーズバジル焼き、ブロッコリーサラダなどの24種類。児童らは、栄養バランスを考えながら主食・主菜・副菜を選び、バイキング給食を楽しんでいました。

ごちそうさまのあいさつでは、「いつもおいしい給食をありがとうございます」と感謝の気持ちを込めて給食センタースタッフの皆さんに全員でお礼を述べていました。